

### 歳出予算事業概要書

款 項 目	04 衛生費 02 清掃費 02 塵芥処理費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額			所属課コード 1002000000	所属課名 環境政策課	内線番号					
					うち復活額	一般財源									
大 事 業	036	0	0	35,013	31,960	0	0								
中 事 業	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	実施 部 章 節 細 節	ゆとりある心豊かな米子 『暮らし』がいきいき 魅力あふれる定住のまちづくり 清潔な環境づくり	実施計画計上額  0					
小 事 業	00										0	1,991	0	29,969	0
細 事 業	0														
1. 事業の概要と必要性					節			本年度の財源内訳							
平成18年3月に策定した米子市一般廃棄物処理基本計画では、平成22年度のごみ排出量を平成12年度のごみ排出量と比較して8%減量することとしており、この目標を達成するためには、更なるごみの減量化を推進していかねばならない。 先進都市の例では、ごみ処理の有料化はごみの減量化のための有効な手段という結果も出ており、本市でも、ごみ減量化の一層の推進、ごみ排出量に応じた費用負担の公平性・平等性の確保、ごみ処理経費に係る財源確保の観点から、ごみ処理の有料化を平成19年4月1日から実施するものである。 なお、有料化するごみの区分は可燃ごみ・不燃ごみ（不燃性粗大ごみを含む）とし、指定ごみ袋又は収集シールの料金として処理手数料を徴収する。					区分		金額	財源	款	項	目	節	細	節	金額
2. 根拠法令					11	需用費	26,695	手数	14	02	03	01	008	29,969	
3. 用地の状況					12	役務費	975								
4. 基本計画との関連					13	委託料	4,290	都道	16	02	01	01	029	1,991	
5. 本年度の計画効果					6. 財源の説明										
1 事業計画 (1) 有料化の実施 平成19年4月1日から (2) 住民等への周知 よなごみ通信（広報よなご特集号）、ホームページ、テレビ・ラジオスポット等 ごみステーションでの指導・啓発 (3) 負担軽減措置の実施 対象者に指定ごみ袋の交付 (4) ごみ減量事例集の配布による啓発					(1) 財源内訳 ・ 県支出金（合併支援交付金） 1,991,800円 ・ ごみ処理手数料 29,969,000円										
2 事業効果 ごみ排出量減量見込み 可燃ごみ、不燃ごみを前年比で10%程度の減量 ごみ処理手数料収入見込み総額 348,000千円					(2) 事務事業評価の反映状況 実施										
目的別 性質別															